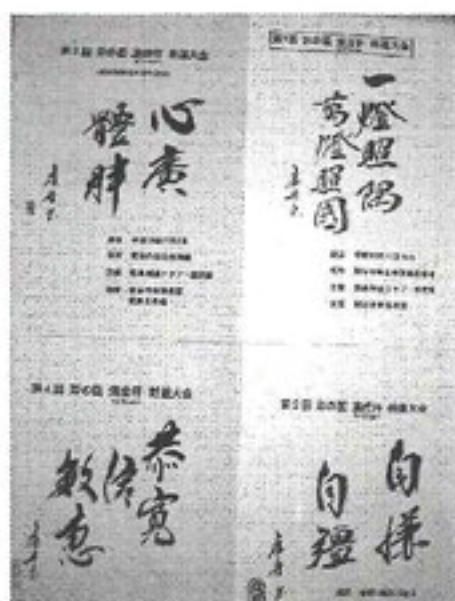


けん ぶ かん 虔 武 館



四書五経、日本の先哲、安岡正篤・森信三・中村天風先生等の教えが基本

第4回清虔杯剣道大会（約110チーム参加、平成16年11月、於：越谷市総合体育館）

越谷市剣道連盟創立50周年おめでとうございます。

当虔武館も本年創立8周年を迎えることとなりました。これも偏に越谷市及び越谷市剣道連盟を始めとします皆様方からの御支援御厚情の賜物と感謝申し上げます。

現在、虔武館は、中学生から大人の会員を主体として活動しております。クラブの変遷等を紹介致します。

【変遷】

〔設立までの経緯（昭和50年～平成4年頃）〕

別ページの萩島剣道クラブの紹介欄を参照下さい。

〔試行期（平成4年～6年頃）〕

平成2～3年頃は、萩島剣道クラブから育った子供たちが、その後中学に行っても、剣道の部活動を指導できる先生がおられず、他のクラブに変わる生徒が多発しました。そこで平成4年の春から、越谷西中学校の校長先生との話し合いで、今でいう外部講師的な指導を中学で行いました。夕方の指導は時間的に困難です

結びに、今後当館が10年20年と継続発展出来ますよう精進して参りたいと存じます。一層の御教導を賜りますようお願い申し上げます。

【指導方針】

当館は、礼儀を大事にし、高校・大学・社会人になっても通用する剣道の基本の養成及び社会人として世間に貢献できる人格の育成の一助を主眼に指導をしております。

「混然中処」「一燈照隅満燈照国」「啐啄同時」

【館長】 初代 中村雅和 二代目 秋元享

【指導者】

- 師 範：教士7段＝永松 教孝・己ノ瀬弘司
堀川 勝史
- 副師範：錬士6段＝永松富士恵・堀川 智子・
内田 雅之・小針 昌浩
小林 修

【稽古日及び稽古場所】

毎月・土曜日：午後8時から9時
(参加者全員による廻り稽古)
越谷西中学校校武道場・体育館

【会員】 (巣立った会員も含む)

- 藤井正幸・二瓶剛・中尾潤・杉谷和彦・高橋宏治・
武元啓一郎・丸橋信夫・長谷川克己・正木伸卓・
竹田和彦・沼田陽助・伊藤大輔・高橋聡・小林貴典・
飯島大輔・中尾稔・小田研二郎・永松武徳・佐々木
亮・野田賢広・秋元孟・大塚 剛・平田竜太・矢野貴
之・山後和之・黒田知美・永松美穂・杉谷亮・佐々木
海佳・野田宏康・廣澤恭平・中村晋・濱野武士・岡田
圭太・篠田拓也・宮川優子・岩田隆太郎・中家由香
理・武元隼人・篠田康平・永松彩香・榎戸涼子・岡田
匡平・濱野美香・小川祥平・金子勇介・榎本茉莉那・
秋元美穂・竹田芽生・向佐美穂・原田隆史・杉本雅美

【彩の国清虔杯剣道大会】

子供たちの大会等で剣道の基本、礼儀がおろそかになりつつあることを憂い、夏季の日本武道館の基本錬成大会に似通った大会を、平成10年から主催、21世紀となる平成13年から彩の国清虔杯剣道大会と命名し実施、本年は第5回大会となります。

〔清虔〕とは、教育界に多大の功績を残された「人生二度なし」等のお言葉で知られる「森信三先生」が好

ので、早朝の勤務前及び休日を主体に指導しました。

深夜勤務が多く、厳しい状況でしたが、生徒たちは積極性のある子が多く、楽しく過ごしておりました。

〔設立期（平成6年～現在）〕

その後、西中に中尾潤先生（5段）が赴任され、先生自身の剣道の上達、また、中高校生の継続等を念頭に、夜の時間帯に変え大人も含めた形で6年6月から「萩西剣道愛好会」として稽古会を始めました。

当初は、萩島剣道クラブの己ノ瀬弘司先生・永松富士恵先生に加え、雨宮蔵吉教士7段（消防庁勤務）小針昌浩錬士6段（システム経営者）等も指導に携わってくれました。そして、10年4月に、正式に大人の部を「虔武館」と命名しました。

以後、萩島剣道クラブの内田雅之先生・堀川智子先生・御主人の堀川勝史先生教士7段（高校教師）、小林修錬士6段（警視庁勤務）も指導者に加わって頂き継続しております。



第1回彩の国清虔杯剣道大会（平成13年11月、於：越谷市総合体育館）



第2回彩の国清虔杯剣道大会（中学生男子優勝、平成14年11月、於：越谷市総合体育館）



全日本都道府県剣道道場対抗優勝大会
全日本都道南関東剣道道場対抗・全日本小中学生女子個人選抜剣道錬成大会。埼玉県代表、団体（永松教孝・内田雅之・永松武徳・武元隼人・竹田芽生）。小学生個人（竹田芽生）（平成15年10月、於：岡山県宮本武蔵顕彰武道館）

まれたもので、虔は慎と同義語といわれています。相田みつを先生の師は、坂村真民先生、真民先生の師は、森先生とお聞きしています。

【クラブのホームページ】

虔武館のホームページは、<http://ogiken.rer.jp/>です。稽古の予定等を見て、御指導や稽古にお越し下さい。
(文責：永松教孝)